

2021年度開発未登録農薬の実用性試験成績(虫害防除)

公益社団法人 石川県植物防疫協会

【稲の部】

No.	試験薬剤	対象作物	対象病害虫	発生状況	結果及び考察
1	NC-525フロアブル (200倍 500mℓ/箱・移植当日処理)	水稻	イネミズゾウムシ	中	対照のDr.オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はまさった。無処理と比較して防除効果は高いと判断され、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
2	NNIF-2146粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	イネミズゾウムシ	中	対照のDr.オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はまさった。無処理と比較して防除効果は高いと判断され、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
3	NNIF-2147粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	イネミズゾウムシ	中	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はやや劣った。無処理と比較して防除効果はあると判断され、実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
4	NNIF-2145粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	イネミズゾウムシ	中	対照のDr.オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はまさった。無処理と比較して防除効果はあるが、その程度はやや低いことから、効果はやや低い実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
5	NNIF-2145粒剤 (50g/箱・播種時覆土前処理)	水稻	イネミズゾウムシ	中	対照のDr.オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はまさった。無処理と比較して防除効果は高いと判断され、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
6	サンエース箱粒剤 (1kg/10a・移植時側条処理)	水稻	イネミズゾウムシ	中	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の10a当たり1kg移植時側条施用処理と比較して防除効果はまさった。無処理と比較して防除効果は低く、実用性は低いと考えられる。薬害は認められなかった。
7	ハコナイト粒剤 (1kg/10a・移植時側条処理)	水稻	イネミズゾウムシ	中	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の10a当たり1kg移植時側条施用処理と比較して防除効果はまさった。無処理と比較して防除効果は低く、実用性は低いと考えられる。薬害は認められなかった。
8	DDI-2001GR (50g/箱・播種時覆土前処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の箱当たり50g播種時覆土前処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
9	NC-520粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の箱当たり50g移植当日処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
10	NC-525フロアブル (200倍 500mℓ/箱・移植当日処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の200倍箱当たり500mℓ移植当日処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。

2021年度開発未登録農薬の実用性試験成績(虫害防除)

公益社団法人 石川県植物防疫協会

【稲の部】

No.	試験薬剤	対象作物	対象病害虫	発生状況	結果及び考察
11	NNIF-2042G (50g/箱・緑化期箱処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の箱当たり50g緑化期箱処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
12	NNIF-2146粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の箱当たり50g移植当日処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
13	NNIF-2147粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の箱当たり50g移植当日処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
14	NNIF-2145粒剤 (50g/箱・播種時覆土前処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の箱当たり50g播種時覆土前処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
15	NNIF-2145粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の箱当たり50g移植当日処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
16	サンエース箱粒剤 (1kg/10a・移植時側条処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の10a当たり1kg移植時側条処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
17	ハコナイト粒剤 (1kg/10a・移植時側条処理)	水稻	イネドロオイムシ	少 (放虫)	本剤の10a当たり1kg移植時側条処理は、無処理区の幼虫及び蛹の発生が評価するために必要とする発生数には達せず、効果の判定は不能であった。薬害は認められなかった。
18	CsオリゼリディアEV箱粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はやや劣った。無処理と比較し防除効果はあると判断され、本剤は実用性があると考えられる。薬害は認められなかった。
19	DDI-2001GR (50g/箱・移植3日前処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は認められるが、その効果はやや低いと判断され、効果はやや低い実用性があると考えられる。薬害は認められなかった。
20	DDM-2011GR (50g/箱・移植3日前処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は認められるが、その効果はやや低いと判断され、効果はやや低い実用性があると考えられる。薬害は認められなかった。

2021年度開発未登録農薬の実用性試験成績(虫害防除)

公益社団法人 石川県植物防疫協会

【稲の部】

No.	試験薬剤	対象作物	対象病害虫	発生状況	結果及び考察
21	NC-520粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は低いと判断され、実用性はないと考えられる。薬害は認められなかった。
22	OAT-1001GR (50g/箱・播種時覆土前処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は低いと判断され、実用性はないと考えられる。薬害は認められなかった。
23	OAT-1001GR (50g/箱・移植当日処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は認められるが、その効果はやや低いと判断され、効果はやや低い実用性があると考えられる。薬害は認められなかった。
24	ヨーバルシードFS (原液10mℓ/乾燥種もみ1kg・播種前塗抹処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は低いと判断され、実用性はないと考えられる。薬害は認められなかった。
25	NNIF-2147粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は認められるが、その効果はやや低いと判断され、効果はやや低い実用性があると考えられる。薬害は認められなかった。
26	MIM-2007粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はやや劣った。無処理と比較し防除効果はあると認められ、実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
27	MIM-2010粒剤 (50g/箱・移植当日処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果はやや劣った。無処理と比較し防除効果はあると認められ、実用性はあると考えられる。薬害は認められなかった。
28	OAT-1202GR (50g/箱・播種時覆土前処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は低いと判断され、実用性はないと考えられる。薬害は認められなかった。
29	OAT-1202GR (50g/箱・移植当日処理)	水稻	ニカメイチュウ	少 (卵塊接種)	対照のDr. オリゼフェルテラ粒剤の箱当たり50g移植当日処理と比べて防除効果は劣った。無処理と比較し防除効果は低いと判断され、実用性はないと考えられる。薬害は認められなかった。

2021年度開発未登録農薬の実用性試験成績(虫害防除)

公益社団法人 石川県植物防疫協会

【野菜の部】

No.	試験薬剤	対象作物	対象病害虫	発生状況	結果及び考察
1	ゲットアウトWDG (3000倍)	大豆	フタスジヒメハムシ	少	対照のアクセルフロアブル1000倍と比較して防除効果はほぼ同等であった。無処理と比較し防除効果は高いと判断され、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
2	SYJ-295DC (4000倍)	だいこん	カブラハバチ	中	対照のアクセルフロアブル1000倍と比較して防除効果はほぼ同等であった。無処理と比較し防除効果は高いと判断され、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。
3	S-8942WDG (1000倍)	だいこん	カブラハバチ	中	対照のアクセルフロアブル1000倍と比較して防除効果はほぼ同等であった。無処理と比較し防除効果は高いと判断され、実用性は高いと考えられる。薬害は認められなかった。